

医療法人尽誠会 山近記念総合病院

〒256-0815 神奈川県小田原市小八幡3-19-14
電話.0465(47)7151 Fax.0465(47)8178
URL <https://www.yamachika-hp.jp/>

当院の感染対策委員会の活動と手洗いのコツ

感染管理認定看護師 秋澤 聡子

当院には感染管理対策委員会があります。感染管理認定看護師が中心となり、院内の感染対策について活動しています。その業務について紹介したいと思います。

感染管理業務の活動は、以下の4つが大きな役割となります。

- ① 病院内の感染に関連する情報を集め分析し改善につなげる。
- ② 看護ケアの改善につなげる。
- ③ 自分が勤める病院に合わせた感染対策プログラムを立案し、効果的な予防と管理を実施すること。
- ④ 自施設だけでなく、地域との連携をして情報共有をしていくこと。

病院内の感染管理の状況を十分に把握・分析し、根拠に基づいた効果的な感染対策を実施・評価することで、患者様、患者様の家族、病院に勤務する全ての職員を感染から守ることが大きな役割となります。

具体的には手指消毒剤使用状況の測定や院内で問題となる感染症や細菌・ウイルス等の出現状況を把握し、院内感染が広がっていないかを監視、また、感染対策における対応の検討などを行っています。

全職員を対象とした感染対策についての研修会も実施しています。特に今年は感染対策に欠かせない个人防护具（マスク、手袋、ガウン、フェイスシールド、ヘアキャップ）の着脱方法を中心に勉強しました。

今年は新型コロナウイルス感染症の流行で、いたるところで感染対策に関連する情報がとびかっています。その中で手洗い、アルコール消毒は毎日のように叫ばれています。当院でも患者様が使用しやすい場所にアルコール手指消毒の設置、職員は携帯型手指消毒剤の使用、手荒れ等でアルコー

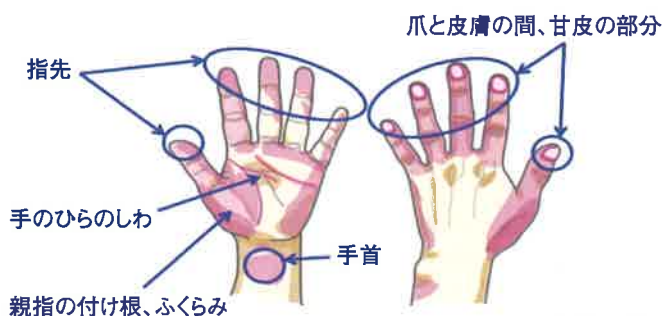
ルが使用しにくい職員には刺激の少ない手指消毒剤の使用、トイレのジェットタオルを廃止し、ペーパータオルの設置などを行っています。

しかし、手洗い・アルコール消毒の重要性は知っていても、方法が間違っているとせっかくの感染対策が無駄になってしまいます。正しい手洗い、アルコール消毒の方法を身に付けて効果のある対策が行えるようにしたいと思います。

さて、では手洗いの際に洗い残しやすい場所ってどこだと思いますか？ハンドソープをつけて洗えば、手洗いは完璧！というわけではありません。自分ではちゃんと洗ったつもりでも、意外と洗い残しがあるかもしれません。洗い残しやすい場所を知って、正しい手洗い・アルコール消毒方法を行うようにしましょう。

指先や親指、手首は洗い残しが多い部分なので丁寧に洗いましょう。また、利き手に洗い残しが多いので（利き手でない手は動きにくいので利き手をよくあらえない）利き手は入念に洗ったほうがよいようです。

洗い残しの多い部分



次頁へ続く



手洗い・アルコール消毒で気を付けたいポイント

- ① 肌にやさしいハンドソープや石鹸、消毒液を使いましょう
目に見える汚れがついているときは手洗い、汚れがついていない場合は手指消毒という使い分けで手への負担を最低限に減らせます。
- ② 手洗いのときは温水でなく水で洗いましょう。
温水だと皮脂が必要以上に洗い流されてしまいます。
- ③ 手を洗うときはよく泡立てて洗い、泡が残らないように丁寧に洗い流しましょう。
泡立てずに洗ってしまうと、汚れが落ちにくいだけでなく、肌への負担にもなります。
- ④ 手を拭くときはゴシゴシとこすらずやさしくふき取りましょう。
肌にそっとタオルをあてて、水分を吸収させるイメージでふきましょ。
- ⑤ 水気を残さないようきちんとふきとることが大切です。
皮膚の水分を奪いながら蒸発していくため乾燥の原因となります。

濡れたまま自然乾燥はバイ菌の思うツボ？

手を洗った後、拭くものがなくて手をブラブラ自然乾燥…手を濡れたままにしておくと雑菌が付きやすくなります。例えば、砂場が目の前にあり乾いた手で砂を触っても砂はそれほど手につきませんね。手ではらえばすぐに砂はとれます。しかし、濡れた手で砂を触るとべっとり砂がつきますね。手ではらってもなかなかとれません。砂が菌やウイルスだとすると…洗った手も台無しになってしまいます。また、髪の毛や頭皮にはたくさんの菌がいます。濡れた手で髪の毛を触るのもやめましょう。

看護部通信 Vol.13



第3病棟師長 中村直子

タイトルを「看護部紹介」から「看護部通信」に改め、看護部からの様々な情報を発信していきます。

2020年、今年はナイチンゲール生誕200年にあたります。博愛と奉仕の精神を持ってクリミア戦争で従軍し、敵・味方の隔てなく、負傷兵死因が負傷よりその後起こる感染症である事を解析しました。その結果、病院衛生状態の改善により、負傷兵の死亡率は激減しました。

現在はナイチンゲールが活躍した時代と比べると、医療技術・薬剤・設備ともに格段と向上しています。しかし今、私たちは新型コロナウイルスという難題に直面しています。日ごろから自己研鑽に努め、異常の早期発見・早期対処を行える知識・技術の向上と、自らの日ごろの行動・体調管理を行い感染予防していくことが大切だと思います。今こそ「考動力」が問われると思います。どうすべきか・何をすべきかをよく考え、実際に行動する力という事です。「博愛と奉仕の精神」「考動力」を意識して職務にあたる事により、新たな難題を克服できると私は信じています。

「がん登録」を行っています

診療情報管理室

平成28年より「全国がん登録」が義務となり、当院でもがんと診断された症例について、登録を行っています。見つかった経緯、時期、がんの進行の程度、治療法を、年齢や居住地と併せて登録しています。

国全体で幅広くがん患者様の情報を集めることで、がんの状態、治療法やその結果等をできる限り正確に把握することができます。

そもそもがん登録は何の役に立つのでしょうか？

- ・この地域で大腸がんにかかる人は多いの？
- ・早期発見はできているの？
- ・この地域でのリスク要因は？
- ・地域や施設での治療の差はあるの？

などを把握できます。

毎年どのくらいの方ががんと診断されているのか、減っているのか増えているのか、生存率はどれくらいか、などを調べることで、**がん対策の一層の充実、がん治療の向上、国民へのわかりやすい情報提供**に役立てられます。

当院では、早期発見、早期治療の一端を担えればと願いつつ、年間平均460件程度のがん登録を行っています。

診察室を訪ねて⑮

内 科



山近記念総合病院 名誉院長
えん どう しげ みち
遠藤茂通 医師



山近記念クリニック 院長
はやし よし ひろ
林 芳弘 医師



内科科長
おお く ぼ たけ ひこ
大久保健彦 医師



ふく え みつ のり
福江光倫 医師



たに がき とし もり
谷垣俊守 医師

内科は現在、常勤・非常勤合わせて計13名の体制で診療を行っております。

循環器疾患・消化器疾患を除いた内科一般の診療を行っている為、診療分野は多岐にわたります。どうしても専門診療や高度医療が必要と判断される場合は、適宜大学病院など高度医療機関の専門外来へ紹介するという形をとっています。

入院患者数は一日平均30~35人程度で、主治医制をとっています。また、他科で入院された患者様が内科の疾患を抱えている場合には併診とし、連携して治療を行っています。

当科の特徴としては、病院の規模が小さいために高度の専門分化されていないことがあげられます。高齢化の進行に伴い1人の患者様が複数の疾患を抱えているというケースが非常に多くなってきていますが、当院の診療体制はそうしたケースに対して、より柔軟に対応できるといえます。

地域に根差した病院として、自分達に出来る事と出来ない事を見極め、出来る範囲内で最大限の適切な医療を提供するということを目標に、日々努力を続けています。

～みなさんも作ってみませんか？～

今回は主菜と副菜をセットで栄養価が計算されています。
是非そのまま今晚の夕食の食卓へ！

簡単！
健康レシピ紹介

Vol.9



材料 (1人分) 142kcal / 塩分1.2g

魚のみぞれあん

- 白身魚 ……80g
- 酒 ……2g
- こしょう ……0.1g
- 小麦粉 ……5g
- サラダ油 ……2g
- 大根おろし…40g
- 濃い口しょうゆ ……5g
- 砂糖 ……1g
- 片栗粉 ……1g
- あさつき(小ねぎ) ……2g
- 人参 ……10g

- ① 魚に酒、こしょうを振り、上から小麦粉をまぶして、油であげる
- ② 大根おろしの水気を少し切り、しょうゆをまぜて、片栗粉でとろみをつける。
- ③ あげた魚に②のたれをかけ、あさつき(小ねぎ)をのせる。
- ④ 茹でた人参を添える。



えのきと青菜のお浸し

- ほうれん草 ……40g
- えのき茸 ……10g
- 濃い口しょうゆ ……1g

- ① ほうれん草とえのき茸をゆで、水気を取る。
- ② しょうゆをかける。

★山近記念総合病院の基本理念★ 広く市民に対して科学的かつ適正な医療を提供する

- ◇ 行動指針 ◇
1. 私達は科学的で適正な医療を提供する為に、それぞれの分野で最高の技量と能力を得る努力をし、それを医療の場で実践します。
 2. 私達は、これらの実践にあたり常に患者さんの権利を尊重し、説明と同意に基づいた医療を基本とします。
 3. 私達は、親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いた心暖まる病院づくりに努力します。

トピック JMS(ジャパンマンモグラフィーサンデー)ピンクリボン運動のご報告

令和2年10月18日(日)に、10月の第3日曜日にがん検診を受けましょう!というピンクリボン運動に当院も参加しました。事前予約制で院内ポスターやニュースレター前号等でお知らせをしたところ、予定予約人数20人のお申し込みを受ける状況となりました。今回はマンモグラフィの撮影は女性放射線技師が対応いたしました。当院には現在2名の女性放射線技師が勤務しております。

今年も予定しておりますので、詳細が決定次第、院内ポスターや当院ホームページでお知らせいたします。



Pink Ribbon

立ち座り運動(筋力の向上)

- ①足を肩幅くらい開いて座ります。
- ②椅子の背やテーブルにつかまり、立ち上がります。
- ③10回繰り返します。

※椅子の高さにより、難易度が変わります。
高いところから始めてください。



困ったことが
ありましたら
ご相談ください

入院中の患者様の介護保険サービスを利用した自宅への退院調整、他院への転院や施設への入所の支援、また入院・外来患者様の療養生活に関する事など、患者様やご家族からのご相談をお受けしています。

ご希望の方は 医療連携室 退院支援管理者(看護師)岩本(内線795)
医療相談員 小峯(内線786)へお問い合わせください。
(場所:病院1階)